

● 令和二年^{れいわ ねんど}度 ひこね^こ子ども文化芸^{ぶん}術^か奨励^{しょうれい}事業^{じぎょう}

夏^{なつ}休^{やす}み文芸^{ぶんげい}テキスト
【短歌^{たんか}部門^{ぶもん}】

うち まな
お家で学ぼう！

じぶん ちから つく
自分の力で作ってみよう！

たんか

短歌^{たんか}つてな^{たの}あに^{たんか}

（楽しい短歌^{たの}の作り方^{たんか}）
^{つく} ^{かた}



主^{しゅ}催^{さい} 彦根市^{ひこねし}・彦根市教育委員会^{ひこねしきょういくいんかい}

協^{きょう}力^{りき} 彦根文芸協会^{ひこねぶんげいきょうかい}

たんか

1 短歌ってなあに

①

たんか せんねんいじようむかし わか い まんようしゅう
「短歌」は千年以上昔から「和歌」と言われ「万葉集」や
ひやくにんいつしゅ よ
「百人一首」にも詠まれてきました。

②

たんか みじか し
「短歌」というのは「短い詩」のことです。
ぜんたい さんじゅういちもじ ご しち ご しち しち ことば
全体で三十一文字。五・七・五・七・七の言葉をつないで、
みじか し
短い詩にします。 リズムが大切です、たとえば

わたくしは 五
さくらももこと 七
もうします 五
どうぞよろしく 七
おねがいします 七

あ
合わせて
さんじゅういちもじ
三十一文字に
なります

にほんご なにげ はな たんか
このように、日本語は何気なく話しても 短歌の形になります。
にほんご たんか む ことば
それは、日本語が 短歌に向いている言葉 だからです。

③

たんか いっしゅ にしゅ かぞ
短歌は「一首、二首」と数えます。
たんか つく
短歌を作るときを「歌を詠む」と言います。

④

作り(詠み)終つたら、表したいことがうまく詠めているか、
字句をさまざまに 考え練ること(推敲といいます)が
大切です。

・ もう一度これでよいか、声を出して読み直してみよう。

・ 一首に、あれもこれもと沢山になりすぎないように、シンプルに
詠みましょう。

・ どうしても字の数が合わない時は、字足らずよりも字余りの方が
良いです。



2 たの たんか 楽しく短歌を作るために

① からだ
体じゆうで感じとってみつけよう。

① め み
目で見る ② み み き
耳で聞く ③ は な か ん
鼻で感じる

④ し た か ん
舌で感じる ⑤ も の
物にふれて感じる

ご か ん い つ か ん か く み る き く に お い あ じ さ わ る
五感(五つの感覚) 視・聴・臭・味・触)といひます。

じ ぶ ん こ こ ろ か ん
自分の心に感じたことを じ ぶ ん こ と ば ひ よ う げ ん
自分の言葉で表現してみよう。

② こ こ ろ ひ び
心に響いたことを大切にしよう。

① い っ し ゅ ん
一瞬のときめき ② う れ
嬉しいこと ③ か な
哀しいこと

④ さ み
淋しいとき ⑤ じ ぶ ん
自分だけの発見

た ん か こ と ば え ら か
これを、短歌にしようと言葉を選んで書くことが大切です。

③ か
テーマ(書きたい内容)は、自由です。(自分で見つけよう！)

① な つ や す
夏休み ② そ ら
空 ③ く も
雲 ④ ひ こ ね じ よ う
彦根城

⑤ い ぶ き や ま
伊吹山 ⑥ び わ こ
びわこ ⑦ せ り か わ
芹川 ⑧ こ う じ ん や ま
荒神山

⑨ か ぞ く そ ふ ぼ ち ち は は き よ う だ い し ま い
家族(祖母、父、母、兄弟姉妹) ⑩ と も だ ち
友達

など

④ 「○○を見て 私はこう思う」は、短歌を詠むのに、
大切なフレーズ（一区切りの言葉）ですから、友達の良い短歌を
参考にしてください。

⑤ 気を付けたいこと

◎ 人をいやな気持ちにさせる言葉や、人の悪口は、読んでみて、
心に響きませんので、書かないようにしましょう。

さあ、皆さん！

のびのびと自由に、発見や感動をそのまま詠いましょう。



3 つぎのお友達の短歌のどこが良いか、

れい せつめい

例をあげて説明します。

① 夜の空ドンとひらいた大花火ぼくの心はハッピーになる

5 7 5 7 7

○「ドンとひらいた大花火」は耳で聞いて目で見ています。

○下の句「ぼくの心はハッピーになる」で自分の思いが出ている。

② あついなうミンミンないてるせみたちはいきてるあいだがんばってなく

5 8 (字余り) 5 7 7

○「ミンミンないてるせみ」は耳で聞いたり、目で見ています。

○下の句「いきてるあいだがんばってなく」で自分の思いが出ている。

③ 実験で危険な薬品使うときぼくの心はドキドキするよ

5 8 (字余り) 5 7 7

○「危険な薬品」は耳で聞いたり、目で見ています。

○下の句「ぼくの心はドキドキするよ」で自分の思いが出ている。

④ 「ありがとう」「たった五文字で良い気持ち相手と自分の心をつなぐ

5 7 5 8 (字余り) 7

○「ありがとう」は耳で聞いたのか、または自分で言っている。

○「良い気持ち」から下の句は自分の思いが出ている。

4 小学生・中学生の短歌を紹介します。

(過去の「ひこね子ども文芸作品」より)

すいぞくかんえがおをみせるあしかさん

みているぼくもおなじかおする (小学一年生)

ホツカホカたきこみこはんいただきます

みんなでたべると心もほかほか (小学二年生)

風の日にちっちゃいどんぐり落ちていた

葉っぱのふとんにくるんであげる (小学三年生)

木の葉とね木の葉があくしゅしているよ

緑のトンネル作っているよ (小学四年生)

竹の声風に吹かれてさやさやと

私の耳にないしよの話 (小学五年生)

コスモスの中でほえむ君がいて

ぼくの心はドキドキしている (小学六年生)

体育祭きつい朝練気がつけば

クラスみんなの絆深まる (中学一年生)

春風にやさしく吹かれ散る花が

遠くにいったあなたのようで (中学二年生)

さんこう

5 参考に

（有名な人の詠んだ短歌・解説）

少し難しいかも知れませんが、読んでみてその意味と、作者の気持ちを感じてみましょう。

●金色のちひさき鳥のかたちして 銀杏ちるなり 夕日の岡に

与謝野 晶子

秋の夕日に 金色に光りながら 落ちていく 銀杏の葉は 小さな
金色の小鳥のようだと おとぎ話のような ようすを読む人に 伝えています。

（旧 かなつかい・文語）

●白鳥は 哀しからずや 空の青海のあをにも 染まらずただよふ

若山 牧水

白い鳥は、まわりの色に 染まることなく、 水と空の間をただよっている。 自分も白い鳥のように 世の中の色に 染まることができずに 一人ぼっちで 哀しい と言っています。

（旧 かなつかい・文語）

●思い出の一つのようで そのままに しておく 麦わら 帽子のへこみ

俵 万智

見過ごしてしまいそうな、 麦わら帽子のへこみ だけけど、これは私の大切な夏の思い出だから そのままにしておこう と言っています。

（日常語、はなしことば・口語）

7	7	5	7	5

7	7	5	7	5

6 作品を作ってみよう

さくひん つく

じぶん かんが づく

(自分で考えて作ってみましょう)

